# 職業実践専門課程等の基本情報について

		設	置認可年月	日校	長名			所在地							
金沢情報エクリエイ	_ <u></u> (ター専門	平	成6年3月2				9200031 石川県金沢市広岡1	<del></del>  -1-15							
学校 			立認可年月		表者名		076-221-5757		所在地						
							1010065								
学校法人大原			和54年4月		· 毎彦 	(電話)	東京都千代田区西 03-3291-0151				DD - M				
<u>分野</u> 文化•教養		認定課程名 ▪ 教養恵門		認定学科   デザイン学			<u>]士認定年度</u> :28(2016)年度	高度専門士認定	年度 職美		<u>門課程認定年度</u> (2016)年度				
人儿 教養		・教養専門				1					8(2016)年度				
学科の目的				はに基づき、工業分野及 材育成を目的とする。	及び文化・教養	分野の専門	課程を設置し、それそ	れの分野に必要な専門	的知識、技術に	に関する教	対育を施し、人格の				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	福祉住環境	竟コーディネ	ペーター、イン	ノテリア設計士、CAD検	定、WEBデザ	イナー検定、	色彩検定等の取得か	「可能。							
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単位	な総授業時数又は総 立数	講	養	演習	実習	実験		実技				
<b>2</b> 年	昼間	※単位時間、 かに記入	、単位いずれ	1,700 単位時間	710	単位時間 単位	1,530 単位時間 単位	3,300 単位時間 単位	0 単位	時間	0 単位時間 単位				
生徒総定員	生徒到	実員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率								
240 人	155			1 人	0	%	5 %								
	■卒業者 ■対職希	数 (C) 望者数 (D)	:	57 52		人									
	■就職者	数 (E)	:	49		人									
	■地元就	職者数(F)	)	32		人									
	■就職率 ■就職者	* *	2元就職者σ	94 )割合 (F/E)		%									
				65		%									
	■卒業者  	こ占める就具	職者の割合	(E/C) 86		%									
計画なるよう	■進学者			0		人									
就職等の状況	■その他		ヾノレ												
		ス、アルバ		に関する合和7年「ロ	1 日時占の棲ま	组)									
	(令和 ■ <b>主な</b> 就	6 職先、業界		に関する令和7年5月	1日時思の情報	FIX /									
	(令和6年度		^ <del>च</del>												
			uco、(株)クロ	ダハウス、富士丸福	(株)、(株)ヴォイ	ス									
				(株)ヤマダタッケン、(株)											
			·ロン・エイシ 印刷、インラ	シ、㈱ピーエーワークシ テリア業界	人、(株)MAPPA	Α									
			等から第三				無								
第三者による			下について任意				ZIIV								
学校評価		評価団体:			受審年月:			評価結果を掲載した							
 当該学科の								ボースページロロー							
								ホームページURL							
	https://w	ww.o-hara	a.ac.jp/senn	non/course/creator/	,			ボームペーシURL							
ホームペーシ URL				non/course/creator/	,			ボームペーシURL							
•		立時間による	る算定)	non/course/creator/	,			ボームペーシURL							
•			る算定)	non/course/creator/	,			ボームペーシURL	1, 700 単位	時間					
•		立時間による	る算定)	non/course/creator/ テと連携した実験・実習		<b>業時数</b>		ボームペーシURL	1, 700 単位						
•		立時間による	る算定) 数 うち企業等		習・実技の授業	<b>業時数</b>		ボームペーシURL		時間					
•		立時間による	る算定) 数 うち企業等	音と連携した実験・実習 音と連携した演習の授業	習・実技の授業	<b>業時数</b>		ボームペーシURL	0 単位	時間時間					
•		立時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	音と連携した実験・実習 音と連携した演習の授業	習・実技の授業 業時数			ボームペーンURL	0 単位	時間時間時間					
•		立時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	をと連携した実験・実習 を実験した演習の授業 受業時数	習・実技の授業 業時数 ≃必修の実験・	・実習・実技		ボームペーンURL	0 単位150 単位0 単位	時間時間時間時間					
URL	(A:単位	立時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	· 実習・実技 )授業時数		ボームペーシURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位	時間 時間 時間 時間 時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位	立時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ≃必修の実験・ ≃必修の演習の	· 実習・実技 )授業時数		ボームペーシURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時間 時間 時間 時間 時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	立時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ≃必修の実験・ ≃必修の演習の	· 実習・実技 )授業時数		ボームペーシURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時間 時間 時間 時間 時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況	(A:単位	対時間による	る算定) 数 うち企業等 うち企業等 うち必修授	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ≃必修の実験・ ≃必修の演習の	· 実習・実技 )授業時数		ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時間時間時間時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 数 うち企業等 うち必修持 (うち企業	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ニンシップの技	・実習・実技 D授業時数 受業時数)		ボームペーシURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時間時間時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 対 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業等)	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した き等と連携したインター	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位	・実習・実技 D授業時数 受業時数)		ボームペーシリRL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時間時間時間時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 対 うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業等)	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した き等と連携したインター を連携した実験・実習 を連携した演習の単位	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位	・実習・実技 D授業時数 受業時数)		ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位	時時時時時時間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) うち企業等 うち必必 うちからな (うちからな) うちからな	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した き等と連携したインター を連携した実験・実習 を連携した演習の単位	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニ必修の演習の ニンシップの担 選・実技の単位 立数	・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数	の授業時数	ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位	時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) うち企業等 うちからな	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した き等と連携したインター を要携した実験・実習 を連携した演習の単位 位数	習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の コンシップの担 で数 こ必修の実験・	・実習・実技 )授業時数 受業時数) 立数	の授業時数	ボームペーシURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 対 うち企業等 うちか必修 うちかかの うちかかの うちかかの うちかの うちかの うちかの うちかの う	を連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携したインター を連携した実験・実習を連携した演習の単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニンシップの技 コンシップの技 コンシップの対 コンシップの コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ	・実習・実技 )授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	の授業時数	ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 対 うち企業等 うちか必修 うちかかの うちかかの うちかかの うちかの うちかの うちかの うちかの う	を連携した実験・実習を連携した演習の授業 受業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携したインター を連携した実験・実習 を連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニンシップの技 コンシップの技 コンシップの対 コンシップの コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ	・実習・実技 )授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	の授業時数	ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対による	る算定) 対 うち企業等 うちか必修 うちかかの うちかかの うちかかの うちかの うちかの うちかの うちかの う	を連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携したインター を連携した実験・実習を連携した演習の単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 業時数 ニ必修の実験・ ニンシップの技 コンシップの技 コンシップの対 コンシップの コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ コンシっ	・実習・実技 )授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	の授業時数	ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対数による第一総単位数	る算定 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	を連携した実験・実習を連携した演習の授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携したインター を連携した実験・実習を連携した演習の単位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の授業 に必修の実験・ と必修の演習の ・ンシップの対 で数 と必修の演習の ・本数 と必修の演習の ・本数	・実習・実技 )授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	の授業時数	ボームペーンURL	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対ける	る 算	と連携した実験・実習の授業と連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。 うち企業等と連携した。 うち企業等したインター と連携した実験・実習の単位 がうち企業等とと連携した。 なのもので表した。 は、これである。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	習・実技の授業 に に に に に は で に は で に は で に は で に に は に に に に に に に に に に に に に	・実習・実技 )授業時数) 並数 ・実習・実技 う単位数 単位数)	の授業時数		0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	対ける	る (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す)	と連携した実験・実習を連携した演習の授業 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではまります。 ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	習・実技の授業 に に に に に は で に は で に は で に は で に に は に に に に に に に に に に に に に	・実習・実技 )授業時数) 並数 ・実習・実技 う単位数 単位数)	の授業時数の単位数		0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	が 総 総 総 総 総 単 位 数 総 単 で は な と な る 数 に よ る 数 で ののの 以 を と な も な も な も な も な も な も な も な も な も な	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	と連携した実験・実習の授業と連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。 うち企業等とは、大変である。 を連携した実験の単位を連携した。 を連携した実験の単位を要求をできる。 を連携した。 をできる。 できる。 と連携した。 をできる。 は、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	習・実技の授業 に に に に に は で に は で に は で に は で に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実習・実技 ⑦授業時数) 並数 ・実習・実技 ②単位数) (専修学	の授業時数の受業時数の単位数	頁第1号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 位 位 位 单 单 单 单 单 位 3 人	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(A:単位	が 総 総 総 総 総 単 位 数 総 単 で は な と な る 数 に よ る 数 で ののの 以 を と な も な も な も な も な も な も な も な も な も な	る (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す)	と連携した実験・実習の授業と連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。 うち企業等とは、大変である。 を連携した実験のの単位である。 を連携した実験のの単位である。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は で に は で に は で に は で に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実習・実技 ⑦授業時数) 並数 ・実習・実技 ②単位数) (専修学	の授業時数の単位数	頁第1号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと関係を関係である。 企業等ののは、 で記入) で記入) を関係である。 で記入の。 で記入の。 の属性(専任)	(A:単位 (B:単位	立 時間に ま る 数 総 単 に よ も も も も も も も も も り の の り と り も り も り も り も り も り も り も り も り も	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等と連携した演習の授業等と連携した。 うち企業等とと連携した。演習の単位を連携した。 を連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 うち企業等とと連携した。 うち企業等とと連携した。 は数 うち企業等とと連携した。 では、これであまる。 は、これでもの間とでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授業 に に に に に は で に は で に は で に は で に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実習・実技 ⑦授業時数) 並数 ・ 実位数 単位数) (専修学	の授業時数の受業時数の単位数	頁第1号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 位 位 位 单 单 单 单 单 位 3 人	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携が と実習等のいでは、 に記入) に記入) の属性ででである。 の属性のでである。	(A:単位 (B:単位	立 時間 に は が が が が が が が が が が が が が	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の受験を変換した。 を実験を変換する企業等とと連携した。 をと連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 をと連携した。演習の単位である企業等とと連携した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実習・実技 ご	の授業時数の受業時数の単位数を設置基準第41条第1項	頁第1号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 単単位 単位 単位 単位 0 単位 0	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと関係を関係である。 企業等ののは、 で記入) で記入) を関係である。 で記入の。 で記入の。 の属性(専任)	(A:単位 (B:単位	立 時間 に は が が が が が が が が が が が が が	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の受験を変換した。 を実験を変換する企業等とと連携した。 をと連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 をと連携した。演習の単位である企業等とと連携した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実業 ( ) 実業 ( ) 要 ( ) 是 ( )	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 4 単 単 単 単 4 単 単 単 4 0 人 0 人	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携施状れいに記入いに記入いに記入いでいる。 教員の属性のででは、 を実習等のは、 に記入ができる。 の属性のででは、 の属性のででは、 ののについても、 ののについでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしい	(A:単位 (B:単位	立 一 一 一 一 一 一 一 一 の の の の の の の の の の の の の	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の受験を変換した。 を実験を変換する企業等とと連携した。 をと連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 をと連携した。演習の単位である企業等とと連携した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実業 ( ) 実業 ( ) 要 ( ) 是 ( )	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単単位 0 単単単単単単単単単単単単単単単単単	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携施状れいに記入いに記入いに記入いでいる。 教員の属性のででは、 を実習等のは、 に記入ができる。 の属性のででは、 の属性のででは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、	(A:単位 (B:単位	立 時 が が が が が が が が が が が が が	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の受験を変換した。 を実験を変換する企業等とと連携した。 をと連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 をと連携した。演習の単位である企業等とと連携した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実業 ( ) 実業 ( ) 要 ( ) 是 ( )	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携施状れいに記入いに記入いに記入いでいる。 教員の属性のででは、 を実習等のは、 に記入ができる。 の属性のででは、 の属性のででは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、	(A:単位 (B:単位	立 一 一 一 一 一 一 一 一 の の の の の の の の の の の の の	る 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	を連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の受験を変換した。 を実験を変換する企業等とと連携した。 をと連携した実験のの単位である企業等とと連携した。 をと連携した。演習の単位である企業等とと連携した。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	習・実技の授業 に に に に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	· 実業 ( ) 実業 ( ) 要 ( ) 是 ( )	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単単位 0 単単単単単単単単単単単単単単単単単	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携施状れいに記入いに記入いに記入いでいる。 教員の属性のででは、 を実習等のは、 に記入ができる。 の属性のででは、 の属性のででは、 ののについても、 ののについでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしいでしい	(A:単位 (B:単位	世 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 の の の の の の の の の の の の の	る 対 う う う う う う う う う う う う か か た な 企 企 企 か ら の か た の の の を の の の の の の の の の の の の の	と連携した実験・実習の授業を連携した演習の授業等とと連携した演習の担実連携した。 を連携したな業等したを連携したた演習を連携したた演習を連携したた演習を主要を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を	習・実技の授う 業・数 ・ 必修のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	· 実業	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					
企業等のと連携状れい と連携がした記入) を書いていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	(A:単位 (B:単位	世 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 の の の の の の の の の の の の の	る 対 う う う う う う う う う う う う か か た な 企 企 企 か ら の か た の の の を の の の の の の の の の の の の の	と連携した実験・実習の授業と連携した演習の授業等ととを実施した。 を実験を主要である。 を実験を主要である。 を実験を表した。 をはまりまする。 をはまりまする。 をはまりまする。 はないまする。 はないまする。 は、これでものであります。 は、これでものでは、これでものでは、これでものでは、これでは、これでものでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	習・実技の授う 業・数 ・ 必修のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	· 実業	の授業時数 の単位数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	頁第1号) 頁第2号) 頁第3号) 頁第4号)	0 単位 150 単位 0 単位 0 単位 0 単単位 0 単単単単単単単単単単単単単単単単単	時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である広告会社、デザイン会社、Web制作会社等(クリエイター職)と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ 実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②文化・教養分野における学修の中心となるデザインカ、表現力、パソコンスキルは勿論のこと、より実践的なクリエイターになるための発想力、情報収集力、コミュニケーションカを修得するための教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として 位置づける。また、委員会での協議結果は当校該当学科の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次 年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
金子 秀安	金沢情報ITクリエイター専門学校 校長	_	_
松本 府美江	金沢情報ITクリエイター専門学校 副校長	_	_
善光 あすか	金沢情報ITクリエイター専門学校	-	_
西川 亜矢子	金沢情報ITクリエイター専門学校	-	_
宮野 愛巳	金沢情報ITクリエイター専門学校	_	_
橋本 謙次郎		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
成田 耕祐		令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月2日 14:00~15:30

第2回 令和6年12月6日 14:00~15:30

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

現状、正社員を採用するより、海外のフリーランスに委託する企業が増えているが、コミュニケーションに関しては難しく苦戦している企業が多いため、技術だけではなく実際に現場で使用されているコミュニケーションツールを活用できるように指導を行う。

学校全体で学生の就職をバックアップする姿勢は今後も継続していくべき。特に学校に企業を招いての講評会などは学生の負担は少なく、企業へのメリットも大きい。入社後のミスマッチを防ぐためにも積極的なインターンシップへの参加は、学校として積極的に後押しする。

使用しているソフトや、そのスキルに関しては申し分ない。現状のカリキュラムで問題ないと感じる。今後の課題としては実際の現場で使用されているコミュニケーションツールを使いこなすこと。口頭での報連相からツールを利用する方向に変わっているので、そこに対応できるような指導を行う。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①文化・教養分野における実習・演習は、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企 業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 職業実践の趣旨をご説明し、ご理解頂いたうえで協定書を締結し、授業の前に打ち合わせを行い、授業法方法や目標到達点、学生の習熟状況の 評価など下記4点について連携を行っている。
- ①実習授業内容構築へのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
グラフィックデザイン皿	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	グループ制作、企業課題等の実践的な実習を通して実務に必要な制作スキルを習得する。	近江町市場

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキル を身につけなければならない。

「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所 属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は下記のとお

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発
- (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: FP見本市紙セミナー 連携企業等: 株式会社 竹尾

期間: 令和6年9月27日(金) 対象: デザイナー

内容 紙の歴史・仕組み・ファンシーペーパーの今

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等:ウェルビー株式会社 金沢センター 研修名: 発達障害への理解と対応について

期間: 令和6年7月31日(水) 対象: 教員

発達障害の理解と具体的な事例への対応を学ぶ 内容

連携企業等: 大原学園 研修名: 講義力向上研修

期間: 対象: 教員 令和6年7月31日(水)

成果や課題を「可視化」し、現状の把握・分析を行う。/学生を引きつける講義のポイントについて知識を深める。 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: モリサワセミナー 連携企業等:株式会社 モリサワ

期間: 対象: デザイナー 令和7年9月26日(金)

内容 文字+組版セミナー フォントの成り立ちや選び方について

②指導力の修得・向上のための研修等

犯罪からあなたを守るために~特殊詐欺などの被害に遭わない 研修名: 連携企業等:石川県戦略広報課

期間: 令和7年8月8日(金) 対象: 教員

内容 特殊詐欺などの犯罪に遭わないためのポイントを分かりやすく紹介

研修名: 講義力向上研修 連携企業等: 大原学園

期間: 令和7年12月15日(月) 対象: 教員 内容 成果や課題を「可視化」し、現状の把握・分析を行う。/学生を引きつける講義のポイントについて知識を深める。 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

## (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

2)「専修学校における学校評価ガイドライン」	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。
(10)社会貢献·地域貢献 	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 □

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

|今年度は、退学防止対策について多くの意見をいただいた。退学理由は、小中高から不登校の学生が多い。入学後から担任によるきめ細かい対応 |および保護者への密な連絡を行っているが、効果は薄い。次年度も引き続き、学生に寄り添った対応を行うことを確認した。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小山 康晴		令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	卒業生
三納 昭博		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他( ))

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

- 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2)各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3)教職員	各学科の担当教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②クラブ活動
(6)学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7)学生納付金·修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生の募集
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

## 授業科目等の概要

	#REI								1 +3	<u>₩</u> -	<del></del>	T +8	ᇎ	<b>≠</b> <i>b</i> -	日	
	7	分類				配当	授	単	13	受業之	実験	场	所	教	貝	· 企 業
	必	選択	自由	授業科目名	授業科目概要	年次	業	位	講	演	実	校	校	専	兼	اع
	修	必修	選択			· 学 期	時数	数	義	習	習・実	内	外	任	任	の連携
1	0				   問題演習を行い、検定試験に合格するための知識を習得する。	1 前	30	1		0	技	0		0		
2	0			 キャリアデザイン I	 	1	30	1	0			0		0		
3	0			キャリアデザインⅡ	面接試験の心構えや事前準備に関する知識レクチャーと演習を行う。	後 2 前	30	1	0			0		0		
4	0			キャリアデザインⅢ	就職試験に臨むための具体的な方法をレクチャーし、その模擬演習を行	2	30	1	0			0		0		
5	0			デジタル表現 I	う。     デザイン表現の基礎 とIllustratoの基礎オペレーションの習得	後 1	30	1			0	0		0		
6	0			,ファル&绕 I 	専攻に応じた課題制作を行う。	前 1	30	1			0	0		0		
7	0			課題制作Ⅱ	オリジナル作品の企画、制作を行いプレゼンテーションする。	後 2 後	90	3			0	0		0		_
8	0		_	制作実習Ⅰ	オリジナル作品を制作する。	2	90	3			0	0		0		
						後 2										_
9	0			制作実習Ⅱ	オリジナル作品を制作する。	後	90	3			0	0		0		
10		0		ポートフォリオ制作	就職活動にてのPRツールであるポートフォリオの制作準備をする。 グループ制作、企業課題等の実践的な実習を通して実務に必要な制作ス	2 前 2	30	2			0	0		0	_	
11		0	_	グラフィックデザインⅢ 	キルを習得する。	· 後 2	60	3			0	0				0
12		0		インテリアデザイン実習 Ⅱ 	駅周辺の土産物店(工芸品)の設計   	後。	180				0	0	0		0	
13		0		イラスト表現 II 	構図や文字の配置等も考慮した上で、オリジナルのイラストを制作する	後	60	2			0	0				0
14			0	基礎デザイン I 	作図法の基本や形の捉え方を学ぶ。	前	90	3			0	0		0		_
15			0	基礎デザインⅡ	立体図法の捉え方や物の形を正確に表現する方法を学ぶ。	後	90	3			0	0		0		_
16			0	プレゼンテーション	プレゼンテーションの基礎としてビジネスコミュニケーションと文章構成を学ぶ。	後	30	1		0		0	0		0	<u> </u>
17			0	デジタル表現Ⅱ	クリエイティブ制作分野で代表的制作ツールのPhotoshopの応用の習得を行う。	後	30	1			0	0		0		L
18			0	CG映像概論 I	映像・撮影、編集技術を基礎に絵コンテ作成演習を行う。	1 前	30	2		0		0			0	L
19			0	CG映像概論Ⅱ	シナリオ、ストーリー作成メソッドの講義と演習を実施する。	1 後	30	2		0		0			0	
20			0	ビジュアルデザイン基礎	デザイン表現基礎・応用の習得 + デザイン制作 + ポートフォリオ制作	1 後	30	2		0		0		0		
21			0	モデリング Ι	3DCGソフトの操作の習得と、それによるモデリング技術の向上を狙いとした実習を行う。	1 前	90	3			0	0			0	
22			0	<b>モデリングⅡ</b>	3DCGソフトの操作の習得と、それによるモデリング技術の向上を狙いとした実習を行う。	1 後	60	2			0	0			0	
23			0	モーションI	3DCGソフトの操作の習得と、それによるモーション技術の向上を狙いとした実習を行う。	1 後	60	2			0	0			0	
24			0	モーションⅡ	3DCGソフトの操作の習得と、それによるモーション技術の向上を狙いとした実習を行う。	1 後	90	3			0	0			0	
25			0	映像編集I	Premiere&AfterEffects基本の習得 + 映像作品実習	1 前	60	2			0	0			0	
26			0	映像編集Ⅱ	AfterEffectsエフェクト制作基礎 + VFX・合成基礎	1 後	90	3			0	0			0	
27			0	デザイン概論 I	ビジュアルコミュニケーションの基礎として造形力の習得	1 前	30	2	0			0		0		
28			0	デザイン概論Ⅱ	デザイン概論 I に引き続き、基礎知識の習得として構成力、表現力を修得	1 後	30	2	0			0		0		
29			0	ビジュアル表現技法	ビジュアルメッセージの視覚化として、ヒストリー&ムーブメント、写 真、発想力	1 後	30	2	0			0		0		
30			0	Webデザイン I	HTML・CSS基礎の習得 + Webデザイン基礎の習得	1 後	90	3			0	0		0		
31			0	WebデザインⅡ	JavaScript、jQuery基礎の習得。 + Webデザイン(UI)応用の習得	1 後	90	3			0	0		0		
32			0	グラフィックデザインI	グラフィックデザイン制作にて必要になる基礎知識と基本オペレーションの習得を行う。	1 後	120	4			0	0			0	
33			0	グラフィックデザインⅡ	グラフィックデザイン制作の基本知識から実制作を通して各種媒体制作 のスキルを学ぶ。	1 後	90	3			0	0			0	
34			0	DTPデザイン	タイポグラフィ(文字組)基礎知識の習得 + 印刷知識の習得	1 後	30	1			0	0		0		
35			0	ポートフォリオ	就職活動にてのPRツールであるポートフォリオの制作準備をする。	1 後	30	1			0	0		0		
36			0	建築設計 I	平行定規等で手描き図面を思考する	1 後	45	3		0		0			0	
37			0	インテリアパース I	手描きによるパースの表現方法とデザインカを習得させる	1前	90	3		0		0			0	
38			0	CAD実習 I	 	1 後	90	3		0		0		0		
39			0	 インテリアデザイン実習 I	  インテリアの基礎を習得し、クライアントの生活スタイルからインテリ  ア構成を考える		180	6			0	0			0	
40			0	インテリアモデリング I	モデルボードの基本的な加工方法を習得し、素材・接着方法・表現を習	1	90	3			0	0			0	
41			_	建築構造 I	得 	前 1 前	45	3		0		0			0	
42			_	インテリア概論 I	店舗設計への初歩知識やインテリアの素材知識の習得	1	45	3		0		0		0		
43				福祉住環境 I	検定試験3級の問題に取り組み、誰もが暮らしやすい生活環境について	後 1 4	45	3	0			0		0	$\vdash$	
44					基礎知識を学ぶ 「有識者の指導による講義と基礎的な実習	後 1	120				0	0			0	
						前 1										
45				デッサン応用 I	有識者の指導による講義と基礎的な実習 	前	120	4			0				0	1

40				1	00					一	
46	+	マンガ基礎	テキストによる講義と基礎的な実習	前 1	60	2		0	0	$\dashv$	0
47	++	イラスト基礎	テキストによる講義と基礎的な実習	· 前 1	60	2		0	0	$\dashv$	0
48	++	マンガ実習 I 	有識者の指導による講義と基礎的な実習	· 前 1	90	3		0	0	$\dashv$	0
49	+	イラスト実習 I	有識者の指導による講義と基礎的な実習 	· 前 1	90	3		0	0		0
50		キャラクターデザイン基礎 	有識者の指導による講義と基礎的な実習	· 後	90	3		0	0	$\dashv$	0
51	++	ネーム基礎 	有識者の指導による講義と基礎的な実習	後	30	1	0		0		0
52	C	色彩基礎 	テキストによる講義と問題演習	後	30	1	0		0	0	
53	С	色彩応用	テキストによる講義と問題演習	後	30	1	0		0	0	
54	С	マンガ演習Ⅰ	有識者の指導による講義と基礎的な実習	前	30	1	0		0	$\dashv$	0
55	С	マンガ演習Ⅱ	有識者の指導による実習授業	後	60	2	0		0	$\dashv$	0
56	С	ネーム演習	有識者の指導による講義と基礎的な実習	1	30	1	0		0	$\downarrow$	0
57	С	デジタルマンガ I	有識者の指導による講義と基礎的な実習	1 前	60	2		0	0	$\dashv$	0
58	С	マンガ演習Ⅲ	有識者の指導による実習授業	1 後	30	1		0	0	$\perp$	0
59	С	イラスト実習Ⅱ	有識者の指導による講義と基礎的な実習	1 後	90	3		0	0		0
60	С	イラスト実習皿	有識者の指導による実習授業	1 後	60	2		0	0		0
61	С	イラスト実習Ⅳ	有識者の指導による講義と基礎的な実習	1 後	60	2		0	0		0
62	С	キャラクターデザイン応用	有識者の指導による実習授業	1 後	60	2		0	0		0
63	С	キャラクターデザイン実習	有識者の指導による実習授業	1 後	60	2		0	0		0
64	С	CG映像概論Ⅲ	オリジナル映像作品のストーリーの演習を実施する。	2 後	30	2	0		0		0
65	С	基礎デザインⅢ	人物デッサンの基本を学ぶ。	2 前	60	2		0	0		0
66	С	基礎デザインⅣ	人物デッサンの応用を学ぶ。	2 後	30	1		0	0		0
67	С	モデリングⅢ	モデリングレベルUPの為の質感表現、スカルプトソフトの基本技能を習得を狙いとした実習を行う。	2 後	60	3		0	0		0
68	С	モーションⅢ	オリジナルモデルの制作に加え、効果的なモーションの実習を行う。	2 前	60	2		0	0		0
69	С	映像編集Ⅲ	AfterEffects実践・応用 + 映像作品実習	2 後	60	2		0	0		0
70	C	3DCG実習 I	希望職種に応じた作品制作実習を行う。	2 前	60	2		0	0		0
71	C	3DCG実習 Ⅱ	希望職種に応じた作品制作実習を行う。	2	30	1		0	0		0
72	C	課題制作皿	企画立案から作品制作まで自らの希望職種に応じた作品を制作する実習 を行う。		30	1		0	0		0
73	С	課題制作IV	企画立案から作品制作まで自らの希望職種に応じた作品を制作する実習 を行う。		30	1		0	0		0
74	С	クロスメディア演習	動画を用いたシェアメディアの理解を行う。	2 前	60	2		0	0		0
75	C	エディトリアルデザイン	エディトリアルデザインにおける制作時の基本知識と実制作を通して制作スキル学ぶ。		60	2		0	0	0	
76	C	W e b デザインⅢ	フレームワーク (Bootstrap) 、CMS (WordPress) を学ぶ。	2 前	90	4		0	0	0	
77	C	グラフィックデザイン <b>™</b>	マーケからのブランディングデザインプロセス	2 後	90	4		0	0		0
78	C	  ポートフォリオ Ⅱ	就職活動にてのPRツールであるポートフォリオの制作準備をする。	2 前	60	2		0	0	0	
79	C	    ビジュアルデザイン実習	希望職種に応じた作品制作実習を行う。	2 前	60	2		0	0		0
80	C	制作実習皿	オリジナル作品の制作を行う。	2	90	3		0	0		0
81		制作実習Ⅳ	オリジナル作品の制作を行う。	2 後	90	3		0	0	$\dashv$	0
82		建築設計Ⅱ	小住宅設計課題のスケッチ指導及びCAD作図法の指導、プレゼンテーション	2 前	60	2	0		0	+	0
83	C	インテリアパース II	チ描きによるパースの表現方法とデザインカを習得させる	2 前	60	2	0		0	+	0
84	C	CAD実習 II	23 - マ	2前	45	1	0		0	0	
85		┃	インテリア設計士検定の学科・実習を学習	2 後	45	3	0		0	0	+
86	+	プレゼンテーション	有識者の指導による実習	发 2 後	90	3		0	0		0
87		卒業制作Ⅴ	有識者の指導による実習	2	90	3		0	0	+	0
88	++	「卒業制作Ⅵ	有識者の指導による実習	後 2 後	90	3			0	$\dashv$	0
89	+ +	「卒業制作VII	有識者の指導による実習	後 2 後	60	2		0	0		0
90	++	「ボックリング   デジタルマンガⅡ	有識者の指導による実習	2	30	1		0	0	+	0
91		マンガ企画 I	有識者の指導による実習	前 2 前	90	3		0	0	$\dashv$	0
92	1	マンガ企画Ⅱ	有識者の指導による美自       有識者の指導による講義と基礎的な実習	前 2 前	90	3		0	0		0
93	++	マンガデッサン	有職者の指導による講義と基礎的な美音       有識者の指導による講義と基礎的な実習	前 2 前	60	2		0			0
93	++	イマンガテッサン 作品制作 I	有誠者の指導による講義と基礎的な美質       有識者の指導による実習		90	3		0	0	$\dashv$	0
				2 前 2					0		
95		┃作品制作Ⅱ ┃	有識者の指導による実習 	2 後	90	3		0	0		0

				 _				
〇 マンガ制作 I 有識者の指導による実習	2 前	) 3		0	0		С	
○ マンガ制作 II 有識者の指導による実習	2 发 9(	) 3		0	0		С	
〇 デジタルマンガ制作 I 有識者の指導による実習	2 前	) 3		0	0		С	
○ デジタルマンガ制作 II 有識者の指導による実習	2 发 9(	) 3		0	0		С	
O     イラスト制作 I     有識者の指導による実習	2 前 12	0 4		0	0		С	
○     イラスト制作 II     有識者の指導による実習	2 发 9(	) 3		0	0		С	
〇 ポートフォリオ制作 I 有識者の指導による講義と基礎的な実習	2 前	) 3		0	0		С	
○ ポートフォリオ制作 Ⅱ 有識者の指導による実習	2 发 9(	) 3		0	0		С	
O     イラスト構成 I     有識者の指導による実習	2 前	) 3		0	0		С	
○     イラスト構成 II     有識者の指導による実習	2 发	) 2	!	0	0		С	
〇 キャラクターデザイン演習 I 有識者の指導による講義と基礎的な実習 「「「」」	2 前	) 3		0	0		С	
○ キャラクターデザイン演習 II 有識者の指導による実習	2 发	) 2		0	0		С	
	2 前	) 3		0	0		С	
合計 108	科目			7170	単	位(肖	单位時	間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ť
を業要件: 修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終 学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 必修科目は必ず履修し、選択必修科目は別に定める別表に従い系統別に履修する。	1 学期の授業期間	22 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。